

滋賀県における 犯罪被害者等支援に関する取り組み



平成21年5月27日(水)

滋賀県県民活動課

滋賀県の取り組みの経緯

年 月	内 容
平成15年 4月	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり条例を施行
10月	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり基本方針策定
(平成17年 4月)	(犯罪被害者等基本法施行)
(12月)	(犯罪被害者等基本計画閣議決定)
平成18年 6月	犯罪被害者等支援施策連絡会議設置
平成19年 4月	犯罪被害者支援アドバイザーの設置
7月	犯罪被害者総合窓口の開設 (県民活動課内)
10月	滋賀県犯罪被害者支援施策の取組指針の策定
平成20年10月～ 2月	命のメッセージャー派遣事業実施 (内閣府事業)
11月	「犯罪被害者週間」国民のつどい (内閣府との共催)
平成21年 4月	総合窓口を「NPO 法人おうみ犯罪被害者支援センター」 に運營業務委託開始

基本目標

犯罪被害者に関する問題を社会全体で考え、ともに支え合い、安心して暮らすことができる滋賀の実現をめざしていきます。

施策推進にあたっての重点的な取組方針 1

～犯罪被害者が抱える多様な課題に応え、
平穏な日常生活への復帰を支援します～

平穏な日常生活への復帰の支援

情報提供・相談体制の充実

- ・総合的対応窓口の設置等による情報提供体制の充実
犯罪被害者支援アドバイザーの設置による支援体制
- ・犯罪被害者の状況に応じた相談体制等の充実
各分野（交通事故、児童虐待、DV等）の相談体制等の充実と連携

深刻な犯罪被害からの回復支援

- ・精神的被害からの回復支援
地域、学校、警察等における犯罪被害者の心のケア
- ・日常生活への復帰に向けた支援
住宅、雇用の確保や経済的支援
- ・安全の確保
一時保護、再被害防止対策などによる犯罪被害者の不安の軽減、安全の確保

施策推進にあたっての重点的な取組方針 2

～犯罪被害者を理解し、
ともに支え合う社会づくりを進めます～

犯罪被害者を支える社会づくり

犯罪被害者についての県民理解の促進

- ・犯罪被害者の置かれている状況等に関する広報啓発・教育の充実
学習機会の提供、広報・啓発
- ・犯罪被害者を社会で支える人材育成の推進
支援過程における二次的被害防止のための関係者に対する教育、研修等

民間支援団体への支援

重要な役割を担う民間支援団体への支援方策の検討

施策推進のための体制整備

- ・民間支援団体との連携・協力
- ・市町との連携・協力
- ・国や関係機関との連携・協力
- ・横断的な庁内推進体制

命のメッセンジャー派遣事業～滋賀県～

資料3

目的

一人ひとりの命の大切さを実感・再認識し、犯罪被害者に対する理解を深めるためには、犯罪被害者の生の声をきく機会を設けることが効果的であることから、犯罪被害者の方々を各市町、関係機関、団体等が開催する会議・研修会や教育現場等に派遣し、犯罪から受けた様々な「痛み」、命の大切さや安心して暮らすことのできる社会づくりに対する被害者の思いなどを知っていただくことで、犯罪被害者に対する県民の理解を促進し、犯罪被害者を支える社会づくりの推進を図る。

内容

各機関、団体等からの派遣依頼に基づき、当該団体等が開催する会議・研修会等へ講師(犯罪被害者等)を無償で派遣する。

開催概要一覧

NO	名称	開催月日	講演時間	会場	対象者	人数	団体名	派遣講師	所属	演目
1	伊香郡地域安全サミット	H20 10/17 (金)	14:20 ～ 15:20	伊香郡民会館	学校関係者、ボランティア等	84	伊香郡防犯自治会	一井彩子	少年犯罪被害者の会	子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために
2	県犯罪被害者支援連絡協議会研修会	10/23 (木)	14:00 ～ 15:00	県厚生会館	会員、行政等	86	県犯罪被害者支援連絡協議会	本郷紀宏		犯罪被害者支援と被害者の立場・心境について
3	竜王町小口区交通安全研修会	10/26 (日)	9:30 ～ 10:30	竜王町小口公民館	小口区民	90	竜王町小口自治会	山下重子	TAV交通死被害者の会	悲しみの涙を勇気に変えて
4	東近江地区犯罪被害者支援ネットワーク会議研修会	11/14 (金)	13:30 ～ 15:00	東近江警察署	東近江管内行政、各種団体	32	東近江地区犯罪被害者支援ネットワーク会議研修会	福井公子	兵庫県警犯罪被害者	犯罪被害者の現状と関係機関団体が行う支援について
5	滋賀県立農業大学校特別講義	11/18 (火)	13:00 ～ 14:30	県立農業大学校	学生、研修生	42	県立農業大学校	伊藤 裕	全国犯罪被害者の会	犯罪被害者を支え、安全・安心
6	子どもの犯罪防止を図るためのボランティア研修会	H21 2/21 (土)	14:10 ～ 15:10	スカイプラザ浜大津	防犯ボランティア	84	大津警察署	一井彩子	少年犯罪被害者の会	子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために

《アンケート結果 抜粋》

① 犯罪被害者の現状についてどう思うか?

- ・ 犯罪被害者の痛みや命の尊さを実感した。
- ・ 被害者家族の方の生の声を身近に考えるべき。
- ・ 犯罪被害者の心のケアが重要である。
- ・ 犯罪被害者がおきざりにされている。救済を。
- ・ 被害者のまだまだ一部のものしか関心がない。
- ・ 想像を絶する状況におられることを実感した。
- ・ 目からウロコ、こんなに驚いたことははじめて。

② ①に対してどう思うか?

- ・ 各自の自覚、学びが大切。
- ・ 関心を持てるようなPR活動を重ねていくべき。
- ・ 安全に対して、地域ぐるみで取り組みが必要。
- ・ 報道のあり方を考えていくべき。

③ 今後も開催した方がよいと思うか?

- ・ 強く願います。
- ・ 多くの人に聞いてもらう機会が大切。
- ・ このような講演を聞く機会がなく貴重。
- ・ 命の大切さを知ってもらうために続けてほしい。
- ・ できるだけ多くの所で講演会をやるべき
- ・ 今後も開催して多くの人に聞いてもらった方がよい。

④ ご意見、ご感想をご自由にお書きください

- ・ 全地域民が出席して関心を持たせる施策が必要。
- ・ 大変生々しく“現実の事”として認識できた。
- ・ 身近な話で真実味があってよい。
- ・ 実話を聞いて身体が震えるような感動を受けた。
- ・ 事実を事実として話してもらえることが重要。